

中里だより

2023年度 3月臨時号
藤沢市立中里小学校
校長 木内 功

令和5年度の学校評価結果のご報告

本校の教育活動をより良いものにしていくため、今年度も児童の声に加えて保護者・学校評議員の皆さまからご意見をいただき、学校評価を行いましたので、結果の概要を報告いたします。

[児童への設問]

1	学校の勉強は、よくわかりますか
2	自分の思ったことや考えたことを、先生や友だちに伝えることができますか
3	自分の思ったことや考えたことを伝えたとき、先生や友達をよく聞いてくれますか
4	あなたは友達が話をするときによく聞いていますか
5	先生や友だちにあいさつをしていますか
6	学校行事や学年・学級の活動のとき、みんなと協力していますか
7	学校やクラスのきまりをまもっていますか
8	チャイムや時間を守って行動していますか
9	掃除や係の仕事をやっていますか
10	ほかの学年の友達と仲良くしていますか
11	友だちにやさしくしていますか
12	学校は楽しいですか

A：よくあてはまる B：だいたいあてはまる C：あまりあてはまらない D：あてはまらない

各数値の単位は％（四捨五入しているため、設問ごとの合計が100%にならない場合があります）

1 年 生		A	B	C	D
	1	64	25	11	0
	2	61	31	8	0
	3	47	39	14	0
	4	83	17	0	0
	5	54	37	9	0
	6	71	29	0	0
	7	69	31	0	0
	8	75	25	0	0
	9	94	6	0	0
	10	63	29	9	0
	11	61	44	0	0
	12	81	17	2	0

2 年 生		A	B	C	D
	1	37	54	9	0
	2	28	54	15	2
	3	53	36	11	0
	4	41	54	4	0
	5	46	33	22	0
	6	44	48	7	2
	7	59	37	4	0
	8	63	37	0	0
	9	70	26	2	2
	10	52	37	11	0
	11	52	39	9	0
	12	67	25	6	2

各数値の単位は％（四捨五入しているため、設問ごとの合計が100%にならない場合があります）

3 年 生		A	B	C	D
	1	50	47	3	0
	2	35	35	27	3
	3	65	32	3	0
	4	62	35	3	0
	5	44	50	6	0
	6	38	59	3	0
	7	41	47	9	3
	8	59	27	15	0
	9	71	29	0	0
	10	68	27	3	3
	11	50	44	6	0
	12	56	27	9	9

4 年 生		A	B	C	D
	1	50	48	2	0
	2	36	52	10	2
	3	62	33	5	0
	4	62	38	0	0
	5	55	43	2	0
	6	62	37	1	0
	7	52	45	2	0
	8	64	33	2	0
	9	76	24	0	0
	10	57	26	14	3
	11	64	36	0	0
	12	57	36	2	5

各数値の単位は％（四捨五入しているため、設問ごとの合計が100%にならない場合があります）

5 年 生		A	B	C	D
	1	56	31	13	0
	2	44	51	6	0
	3	69	31	0	0
	4	59	41	0	0
	5	62	30	6	2
	6	59	33	8	0
	7	49	49	2	0
	8	62	36	3	0
	9	85	15	0	0
	10	56	36	3	5
	11	59	36	6	0
	12	56	36	8	0

6 年 生		A	B	C	D
	1	36	53	7	4
	2	36	54	9	2
	3	56	42	2	0
	4	56	40	4	0
	5	31	56	10	4
	6	47	51	1	2
	7	26	72	2	0
	8	42	58	2	0
	9	56	44	0	0
	10	40	42	16	2
	11	45	53	2	0
	12	42	47	9	2

全体的にはAまたはBの肯定的な回答が多数を占めました。肯定的な部分につきましてはいっそうの進展を目指し、CやDがやや多い項目につきましては、評価した児童の思いを真摯に受け止め、改善にむけた努力をいたします。

〔保護者への設問〕

		A	B	C	D
1	学校の教育目標や教育方針を見たり聞いたりしたことがある	29	38	29	5
2	学校は、保護者の参加行事・授業参観や来校する機会を設けている	76	24	0	0
3	学校の施設・設備は、整備されている	19	67	10	5
4	学校は、安全や防災に対する対策に取り組んでいる	25	60	15	0
5	学校は、子どものことについて相談しやすい	19	52	29	0
6	学校は、地域やPTAとの協力関係ができています	29	67	5	0
7	学校は、学校の様子を保護者や地域へ伝えている	24	62	10	5
8	お子さんは、自分からすすんであいさつしている	18	50	23	9
9	お子さんは、基本的なルールが身についている	29	62	10	0
10	お子さんは、学校へ行くのを楽しみにしている	19	57	14	10
11	お子さんは、学習に意欲的に取り組んでいる	10	62	24	5
12	あなたは、学校での子どもの様子を把握している	5	55	40	0
13	あなたは、子どもの友だち関係を知っている	10	80	10	0
14	あなたは、子どもの話をよく聞いている	14	71	14	0

A：よくあてはまる B：だいたいあてはまる C：あまりあてはまらない D：あてはまらない

※各数値の単位は%（四捨五入しているため、設問ごとの合計が100%にならない場合があります）

多くの項目で肯定的な回答をいただきましたが、1「学校の教育目標や教育方針を見たり聞いたりしたことがある」や5「学校は、子どものことについて相談しやすい」、8「お子さんは、自分からすすんであいさつしている」、10「お子さんは、学校へ行くのを楽しみにしている」、11「お子さんは、学習に意欲的に取り組んでいる」、12「あなたは、学校での子どもの様子を把握している」についてはCまたはDの回答が多く、周知や働きかけ、またご家庭や地域と学校の連携体制について改善が必要であると受け止めています。

また、以下にいただいた主なご意見の要旨を載せております。学校としてすぐに対応出来ること、逆に時間がかかること、学校単独では難しいこと、市や県の援助が必要なことなどがございますが、学校として真摯に受け止め、改善にむけた努力をして参ります。

- ・学級だよりや学年だより、学校だよりを通して学校の様子を理解している。
- ・学校の教育目標でもあり、児童たちがこの先築いていく人間関係において大変重要だと思われる心の部分において、礼儀や思いやりの欠如など幼い児童が多いように見受けられる。各家庭の教育が大切なのは承知しているが、やはり教師の影響は計り知れないと思う。ぜひ、児童たちの心の教育にもっと重点を置いてもらえたらと思う。
- ・PTA 活動時の駐車場利用を検討してもらいたい。
- ・学校単位での教育方針の効果が、子どもたちにとってどこまであるのか知りたい。方針に対して、子どもや大人の理解や実感ができているかなど、独自の実感プログラムや答え合わせのような授業や発表会、日々の行動で評価することで中里小ならではの育成への取り組みの現在地を知ることができると思う。それにより保護者や地域との助け合いや取り組みが生まれると思う。
- ・開放日がもっとあると良い。
- ・設備の古さは仕方ないところもあるが、トイレや流しなどの衛生環境については改修を行ってほしい。

[学校評議員による学校関係者評価]

折々に学校を見ていただいたことをもとに、学校評議員の皆様にも評価をお願いしました。伺った内容は以下の項目です。肯定的な評価を多くいただきましたが、改善を要する点もありました。次のように具体的なご感想やご提言をいただきました。

(1)教育活動及び学校運営等の取組状況や目標の達成状況について

- ・学年ごとに授業を受ける態度が異なり、成長を感じた。
- ・団体行動の指導は大変なことも多いが、一人ひとりが発言できることや先生が聞き逃さないことは児童にとっても嬉しいことだと思うので、細かい部分も引き続きお願いしたい。
- ・子どもたちがとても元気よく一生懸命にそれぞれのことに取り組む様子から、教育活動の状況が良好であると確認できた。
- ・それぞれの科目の中で、教育目標を目指しているように感じ、安心している。

(2)次年度に向けた教育活動及び学校運営等の改善に関する意見

- ・来年度は、コミュニティスクールの導入により大人との関わりが増えると思う。子どもを中心にした考え方や行動に加え、大人と一緒に楽しむことを望む。『楽しい』に勝るものはないと思うので。
- ・常に少しずつ良い変化をしていけるように、トライアンドエラーを行っていけば良い。
- ・地域の人たちにあいさつできる子どもになると、我々も元気をもらえる。そんなコミュニケーションがとれたら最高だと思う。

(3)今後の改善方策

- ・多世代のコミュニケーションが活発に行われる環境作りをお願いしたい。あいさつ、自分の意見を言いやすい、風通しがよい、そんな校風にしてもらいたい。来たい、また来たいと思える学校であってほしい。
- ・特に改善した方が良いという点は見当たらなかった。今後も子どもたちとしっかりコミュニケーションを取り続けていけば、自ずと良い学校になっていくと思う。
- ・子どもたちの素直な心を教育環境を通して育ててもらいたい。

また、教職員も自校の現状について評価をおこなっています。その中で、「あいさつ」や「地域教材を生かすことや地域とのつながり」「研究」について十分でないと感じている割合が高くなりました。コロナ禍の影響がまだ残っていると思われますが、「あいさつ」については児童、保護者、学校関係者による評価とも共通しており、人間関係の基本であるとの認識から、今後の重点項目と考えております。

以上の結果をもとに、工夫・改善を加えながら、小学校の子どもたちがより充実した学校生活を送れるよう、教職員一同、力を合わせて取り組んで参りますので、今後ともご理解・ご協力の程、よろしくお願いいたします。